

海外経済展望

2010年1月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

【目 次】

米国	I－（１～７）
欧州	II－（１～６）
原油価格	III－（１～２）

◆本資料は2009年12月29日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

米国経済・金利：下田（Tel：03-3288-4527 Mail：shimoda.yusuke@jri.co.jp）

欧州経済・金利：大竹（Tel：03-3288-4739 Mail：otake.shigehisa@jri.co.jp）

原油動向：大竹（Tel：03-3288-4739 Mail：otake.shigehisa@jri.co.jp）

米国経済概説（2010年1月）

1. 米国経済の現状：景況感に明るさも、実体経済は厳しい状況

足許の米国経済は、一部指標で明るさがみられるものの、雇用・所得環境の悪化、商業用不動産市場の低迷など、実体経済の悪化が持続。

2. トピックス

①金融情勢

米国では、大手金融機関が政府による経営関与から脱却する動きを加速。バンク・オブ・アメリカが2009年12月9日に公的資金を完済したのに続き、23日にはウェルズ・ファーゴが全額を、シティグループが一部を返済。

もっとも、金融情勢が安定化に向かっているとみるのは早計。ローン延滞率の上昇に歯止めがかかっていないなか、4大銀行の不良債権額は増加基調。金融機関は多額の貸倒引当金を計上しているものの、不良債権の増加ペースに追いついておらず、引当金によるカバー率は低下。財務状況に改善の兆しはみえず。こうした状況を背景に、商業銀行の貸出残高は減少が続く一方、現金や国債などの安全資産の割合が上昇しており、金融機関のリスク回避姿勢が一段と顕著に。

民間向け貸出の減少は景気下押しに作用。とりわけ、間接金融が主とみられる中小企業では資金繰りの悪化がなお深刻で、企業の倒産件数も高水準。金融不安が企業倒産と不良債権の増加を招き、これが金融不安を一段と増幅させるという悪循環を招く恐れも。

②不動産問題

ファースト・アメリカン・コアロジックによると、住宅市場では価格の下落に歯止めがかかりつつあるものの、全米の約27.5%にあたる1300万世帯が、住宅資産価値よりも住宅ローン借入残高が多い「ネガティブエクイティ」、または「準ネガティブエクイティ」の状態。とりわけ、カリフォルニアやフロリダといった、住宅バブルが発生した州では、LTV比率も高く、深刻な状況。その他の州でも、失業率が高止まりするなど、雇用情勢の悪化が持続しており、住宅市場の改善にはなお時間を要する公算大。

一方、商業用不動産は、価格の下落幅拡大やローン償却率の上昇など、引き続き悪化。全米不動産業協会によると、商業用オフィスの空

室率は2010年以降も上昇が見込まれ、在庫も大幅に増加する見通し。

③FED WATCH

FEDは09年12月16日のFOMCで前回同様、ゼロ金利政策（FFレート誘導目標を0.00～0.25%のレンジに設定）の維持を決定。MB Sおよびエージェンシー債の買い入れについては継続。

声明では、労働市場や家計支出などの動向を上方修正。こうした動きにあわせ、流動性プログラムの一部や、対各国中銀スワップ協定を、当初の予定通りに終了することを強調。

もっとも、声明では経済活動全般について「徐々に復帰」としてしているものの、「弱い状況が続く可能性が高い」と慎重な見方を崩さず。バーナンキ議長も12月の講演で、「住宅や消費財で需要の強さを示す兆候がある」と発言する一方で、超低金利が、より長い期間続くとの見通しを維持。市場が織り込む先行きの利上げ確率は11月末よりやや上昇したものの、早期利上げは時期尚早との見方が大勢。

3. 景気・金利見通し

<景気見通し：2010年前半は政策息切れでマイナス成長へ>

米国経済は、公共事業や減税などの効果から、当面は持ち直しが持続。もっとも、①雇用・所得環境の悪化持続、②道半ばである家計のバランスシート調整、③商業用不動産市場の低迷、などが重石となり、本格回復には至らない見通し。

政策効果の反動が徐々に顕在化する2010年前半は再びマイナス成長に。一方、11月の中間選挙を控え、政府は追加的な景気テコ入れを策定する公算。これが下支えとなり、景気の底割れは回避される見通し。

<金利見通し：長期金利は上昇圧力増大の懸念>

FEDは流動性供給プログラムの一部を2月1日に終了するなど、金融安定化策を徐々に縮小。もっとも、経済活動全般に対して慎重な見通しを崩さないなか、ゼロ金利政策（0.00～0.25%）は当面続ける見通し。

長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念やドル安などを背景に、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

失業の長期化など雇用環境はなお厳しい状況。消費者信用残高は減少持続

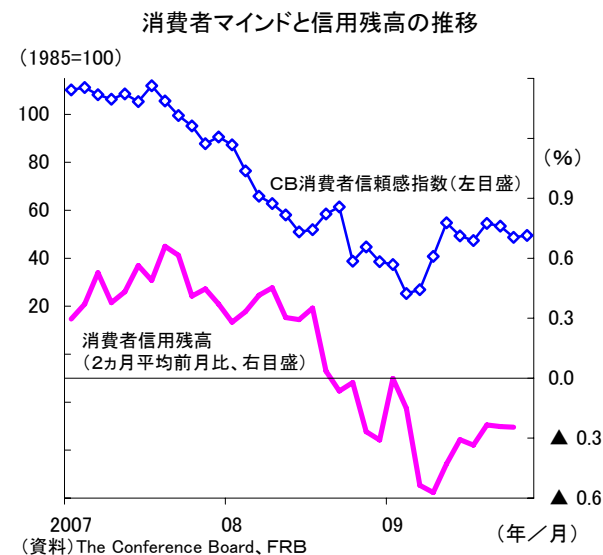
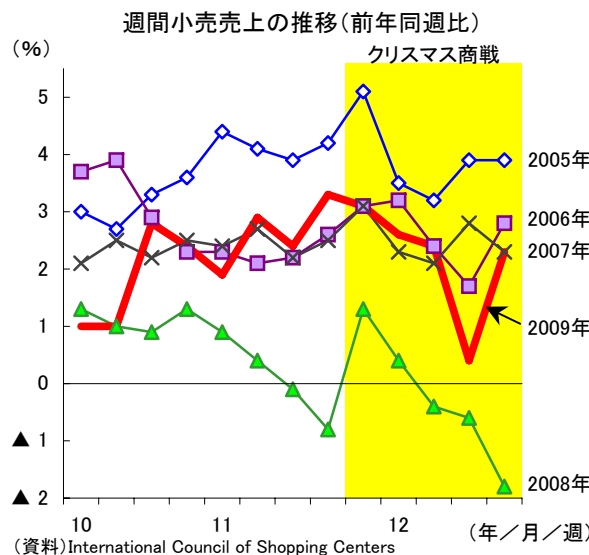
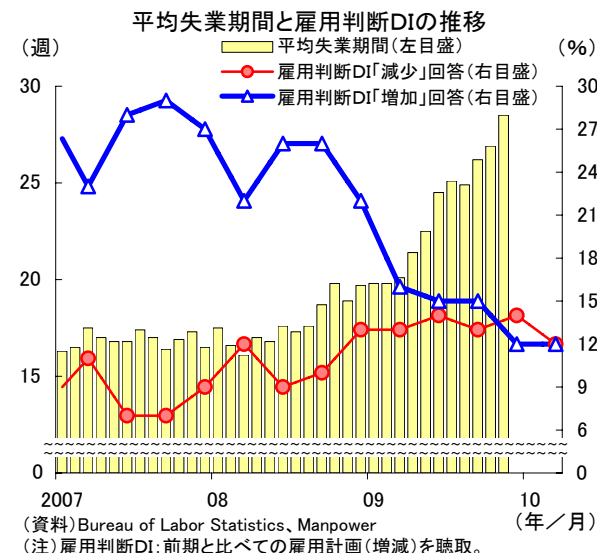
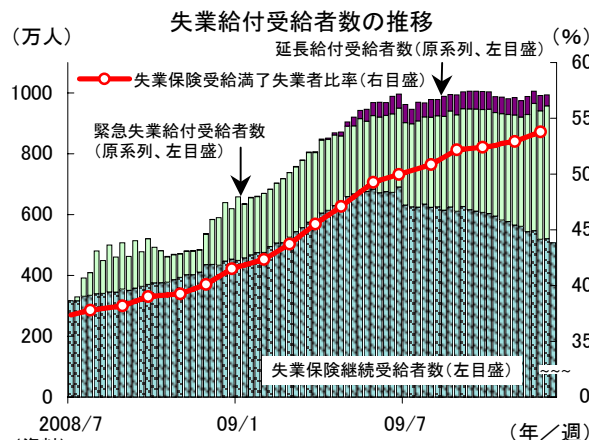
<雇用>

非農業部門雇用者数は2009年11月に前月差▲1.1万人まで減少幅が縮小。もっとも、失業保険給付受給者数は、政府による「緊急失業給付」の増加に歯止めがかからない状況。このほか、失業期間が長期化しているうえ、企業の雇用判断は今春にかけて低迷が続く見通しであり、厳しい雇用環境の見方に大きな変化はなし。

<個人消費>

週次小売統計によると、去年は年末商戦を大幅に前倒ししたことなどから、12月初めまでは堅調に推移。もっとも、その後は、記録的大雪の影響などもあり、06年以前のような高い伸びまでには至らず終了。

消費者マインドは09年初に最悪期は脱したものの、厳しい雇用環境が続くもと、その後は一進一退の動き。消費者信用も09年2月以降、減少が続いており、個人消費の持ち直しは見込みにくい状況。



在庫調整が進むも、先行き楽観できず。住宅は政策効果により大幅増加

<企業部門>

商工業全体の在庫は在庫圧縮の進展により「調整局面」から「回復局面」へ。もっとも、速報性の高いNY連銀やフィラデルフィア連銀の製造業活動指数によると、12月の新規受注指数はいずれも大きく低下。この先、企業の生産活動が鈍化する恐れ。

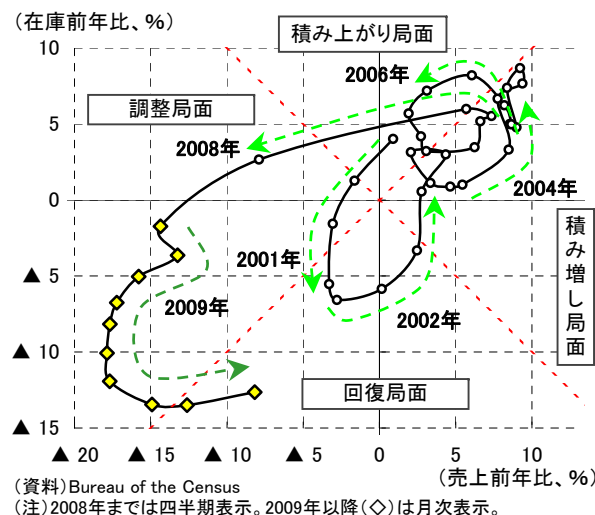
<住宅部門>

政府による住宅購入支援策の当初の期限切れ（09年11月）を見越して、住宅販売は中古を中心に大幅増加。同支援策が4月末まで延長されるなか、今しばらくは堅調に推移する見通し。一方、需要は中古にシフトしており、新築住宅については、11月の販売が前月比▲11.3%と大幅な落ち込み。さらに、着工件数も底這いが続いており、景気押し上げ効果は限定的。

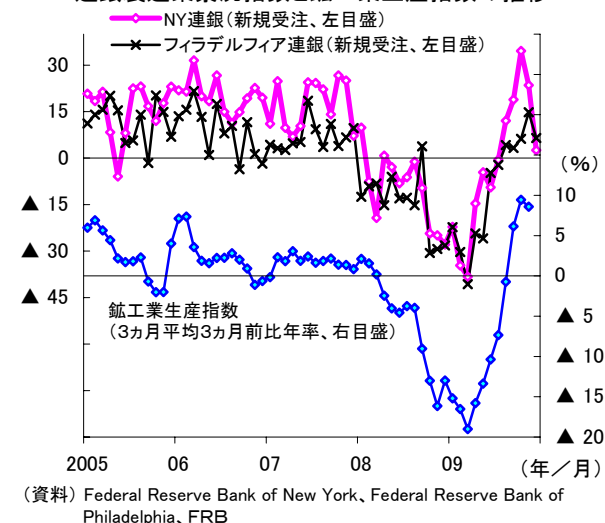
<経常収支>

09年7～9月期の経常収支は▲1,080億ドルと、5四半期ぶりに赤字幅が拡大。政府の景気刺激策などによる内需の持ち直しから、輸入が増加し、貿易赤字が拡大したことが主因。経常収支対名目GDP比も▲3.0%と、前期（▲2.8%）から拡大。

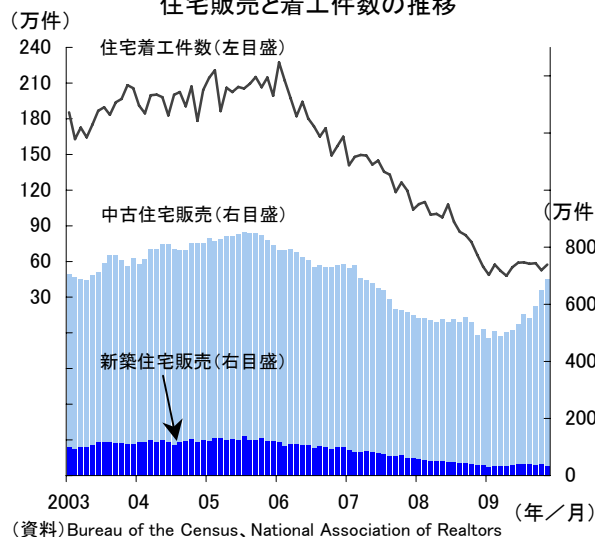
商工業在庫循環図（2001年～）



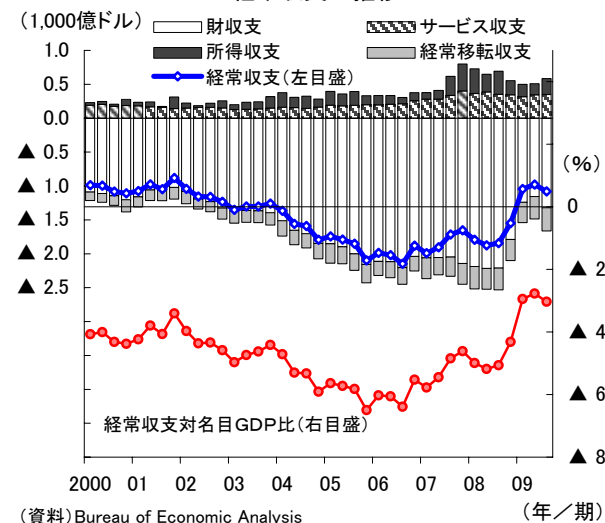
連銀製造業景況指数と鉱工業生産指数の推移



住宅販売と着工件数の推移



経常収支の推移



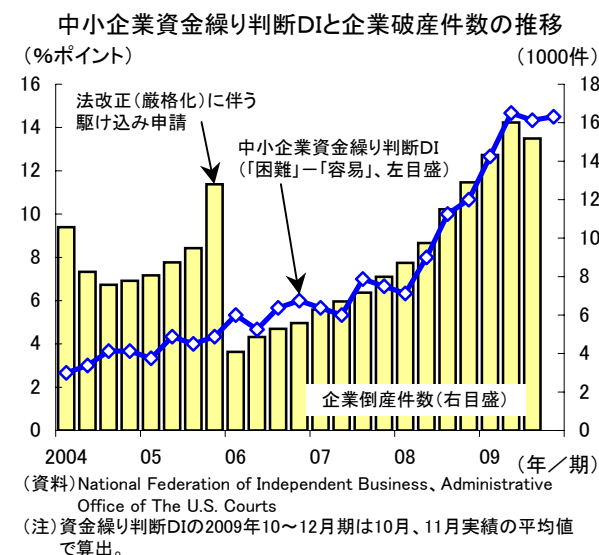
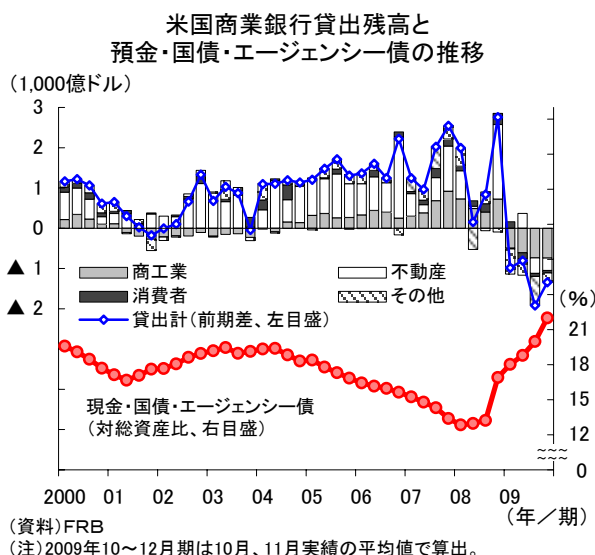
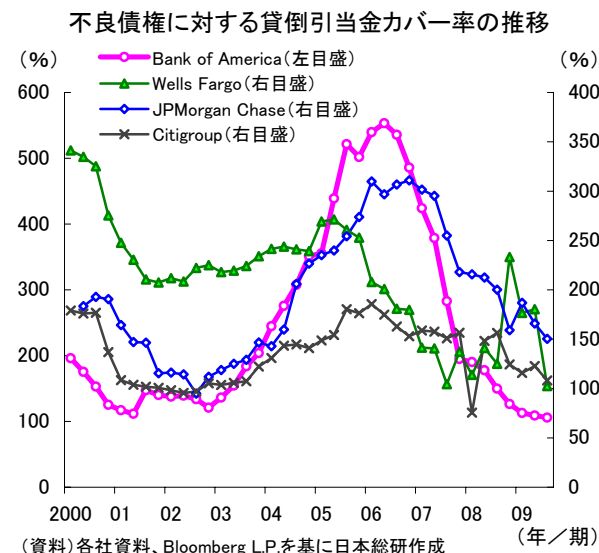
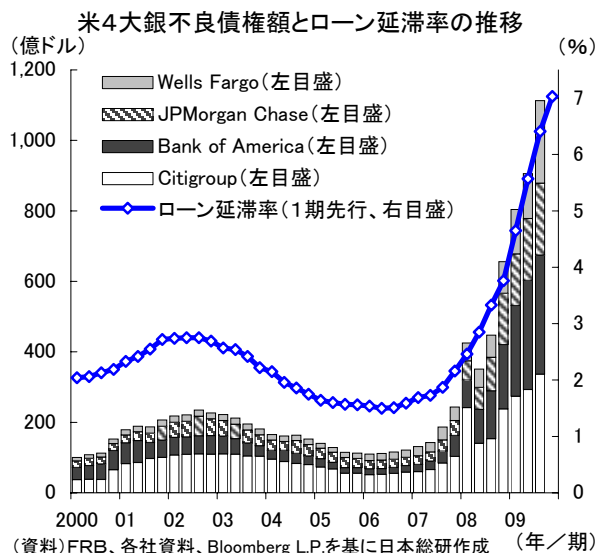
金融機関のリスク回避が倒産、不良債権の一段の増加を招来する恐れ

米国では、大手金融機関が政府による経営関与から脱却する動きを加速。バンク・オブ・アメリカが09年12月9日に公的資金450億ドルを完済したのに続き、23日にはウェルズ・ファーゴが250億ドル全額を、シティグループが450億ドルのうち200億ドルを返済。

もっとも、金融情勢が安定化に向かっているとみるのは早計。ローン延滞率の上昇に歯止めがかかっていないなか、4大銀行の不良債権額は増加基調。金融機関は多額の貸倒引当金を計上しているものの、不良債権の増加ペースに追いつておらず、引当金によるカバー率は低下。財務状況に改善の兆しはみえず。

こうした状況を背景に、商業銀行の貸出残高は減少が続く一方、現金や国債などの安全資産の割合が上昇しており、金融機関のリスク回避姿勢が一段と顕著に。

民間向け貸出の減少は景気下押しに作用。とりわけ、間接金融が主とみられる中小企業では資金繰りの悪化がなお深刻で、企業の倒産件数も高水準。金融不安が企業倒産と不良債権の増加を招き、これが金融不安を一段と増幅させるという悪循環を招く恐れも。



住宅市場の改善にはなお時間を要する公算。商業用不動産は引き続き悪化

<住宅>

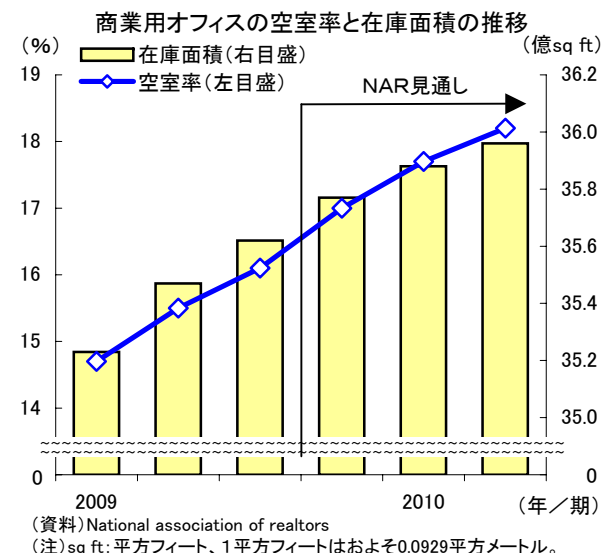
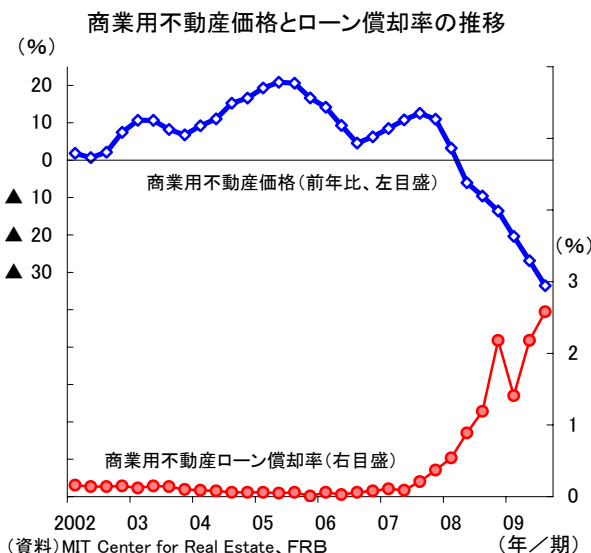
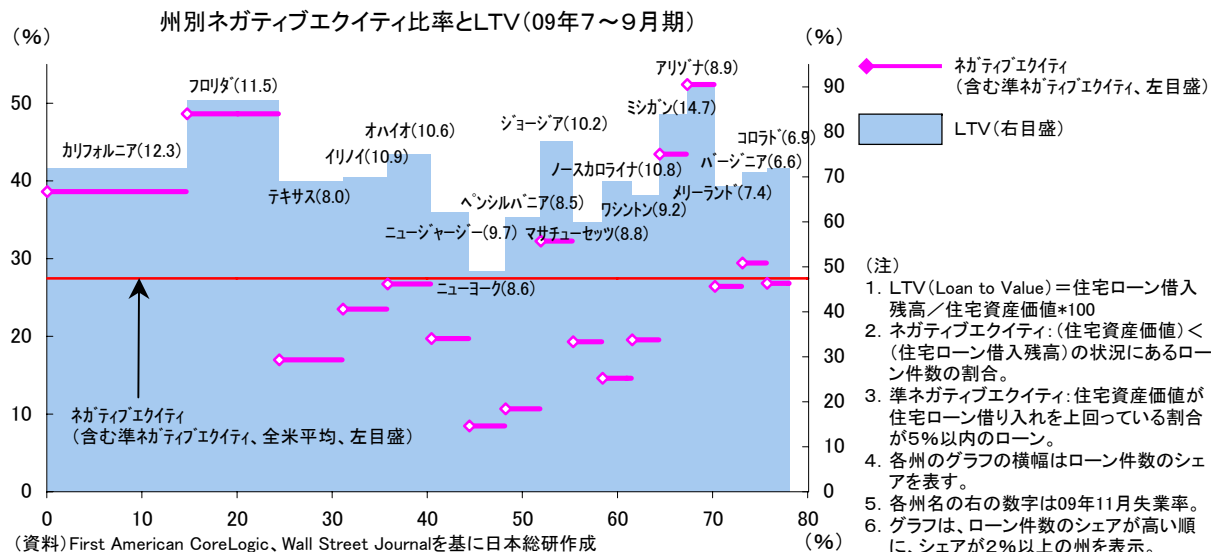
ファースト・アメリカン・コアロジックによると、住宅価格の下落に歯止めがかかりつつあるものの、全米の約27.5%にあたる1300万世帯が、住宅資産価値よりも住宅ローン借入残高が多い「ネガティブエクイティ」、または「準ネガティブエクイティ(※)」の状態。とりわけ、カリフォルニアやフロリダといった、住宅バブルが発生した州では、LTV(ローン借入残高/住宅資産価値)比率も70%超と高く、深刻な状況。その他の州でも、失業率が高止まりするなど、雇用情勢の悪化が持続しており、住宅市場の改善にはなお時間を要する公算大。

(※)住宅資産価値が住宅ローン借入を上回っている割合が5%以内のローン。

<商業用不動産>

09年7～9月期の商業用不動産価格は、前年比▲33.6%と下落幅がさらに拡大。金融機関の商業用不動産ローン償却率も統計開始以来最悪の水準まで上昇するなど、商業用不動産問題は引き続き悪化。

全米不動産業協会によると、商業用オフィスの空室率は2010年以降も上昇が見込まれ、在庫も大幅に増加する見通し。



2010年前半は政策息切れでマイナス成長へ。長期金利は上昇圧力増大の懸念

<景気見通し>

米国経済は、公共事業や減税などの効果から、当面は持ち直しが持続。もっとも、①雇用・所得環境の悪化持続、②道半ばである家計のバランスシート調整、③商業用不動産市場の低迷、などが重石となり、本格回復には至らない見通し。

政策効果の反動が徐々に顕在化する2010年前半は再びマイナス成長に。一方、11月の中間選挙を控え、政府は追加的な景気テコ入れ(※)を策定する公算。これが下支えとなり、景気の底割れは回避される見通し。

※政府の追加景気対策はGDP比1%の規模で、2010年1～3月期に策定されると想定。

<金利見通し>

FEDは流動性供給プログラムの一部を2月1日に終了するなど、金融安定化策を徐々に縮小。もっとも、経済活動全般に対して慎重な見通しを崩さないなか、ゼロ金利政策(0.00～0.25%)は当面続ける見通し。

長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念やドル安などを背景に、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

米国経済成長・物価見通し

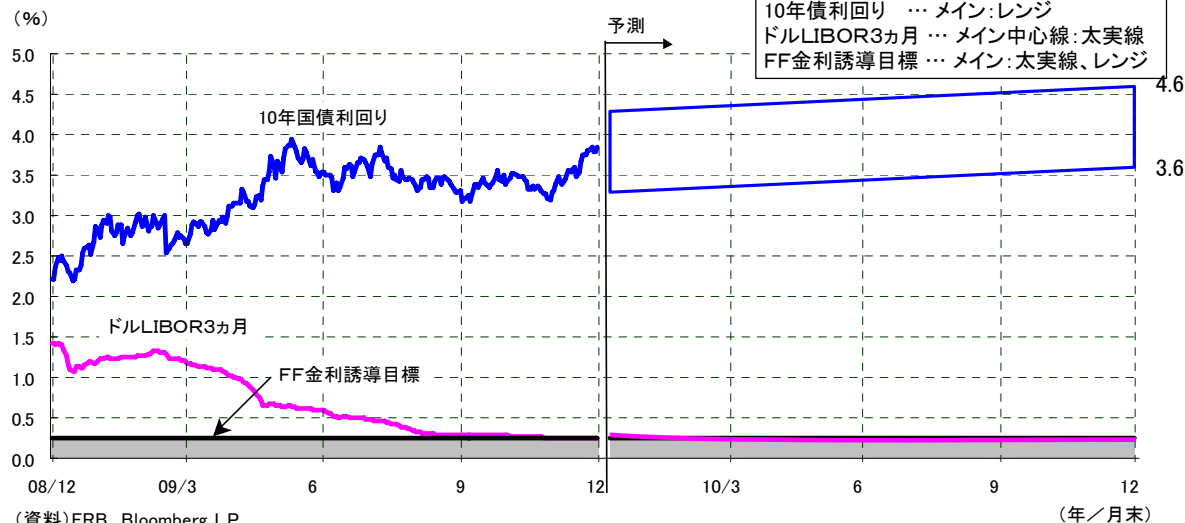
(四半期は季調済前期比年率、%、%ポイント)

	2008年 (実績)	2009年					2010年				
		1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)	1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)
実質GDP	0.4	▲ 6.4	▲ 0.7	2.2	1.3	▲ 2.7	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3	0.5	0.4
個人消費	▲ 0.2	0.6	▲ 0.9	2.8	1.0	▲ 0.6	0.0	▲ 0.0	0.0	0.1	0.5
住宅投資	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 23.3	18.9	5.4	▲ 20.4	1.1	▲ 4.1	▲ 0.7	▲ 0.4	0.8
設備投資	1.6	▲ 39.2	▲ 9.6	▲ 5.9	▲ 3.9	▲ 18.2	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 0.3	▲ 3.3
在庫投資	▲ 0.4	▲ 2.4	▲ 1.4	0.7	0.0	▲ 0.8	0.0	0.2	0.3	0.2	0.1
政府支出	3.1	▲ 2.6	6.7	2.6	3.8	2.2	0.7	▲ 1.8	1.1	1.8	1.5
純輸出	1.2	2.6	1.7	▲ 0.8	0.1	1.0	0.0	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0
輸出	5.4	▲ 29.9	▲ 4.1	17.8	8.7	▲ 10.3	▲ 1.2	▲ 0.2	0.8	1.4	3.2
輸入	▲ 3.2	▲ 36.4	▲ 14.7	21.3	6.6	▲ 14.4	▲ 1.1	▲ 0.5	0.9	1.4	2.4
実質最終需要	0.7	▲ 4.2	0.6	1.5	1.3	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 0.6	0.1	0.3	0.4
消費者物価	3.8	▲ 0.0	▲ 1.2	▲ 1.6	1.5	▲ 0.3	2.4	1.6	1.4	1.2	1.6
除く食料・エネルギー	2.3	1.7	1.8	1.5	1.8	1.7	1.4	1.1	1.0	1.0	1.1

(資料)Bureau of Economic Analysis、Bureau of Labor Statistics

(注)在庫投資、純輸出の年間値は前年比寄与度、四半期値は前期比年率寄与度。消費者物価は前年(同期)比。

米国金利見通し



景気判断を上方修正するも、慎重姿勢は崩さず。市場では低金利持続が大勢

FEDは昨年09年12月16日のFOMCで前回同様、ゼロ金利政策（FFレート誘導目標を0.00～0.25%のレンジに設定）の維持を決定。

声明では、金融市場が落ち着きを取り戻すなか、労働市場や家計支出などの動向を上方修正。こうした動きにあわせ、流動性プログラムの一部や、対各国中銀スワップ協定を、当初の予定通り2月1日に終了することを改めて表明。MBSおよびエージェンシー債の買い入れについては継続。

もっとも、経済活動全般については「徐々に復帰」するとしているものの、「弱い状況が続く可能性が高い」と慎重な見方を崩さず。バーナンキ議長も12月7日の講演で、「住宅や消費財で需要の強さを示す兆候がある」と発言する一方で、超低金利がより長い期間続くとの見通しを維持。市場が織り込む先行きの利上げ確率も11月末対比やや上昇したものの、早期利上げは時期尚早との見方が大勢。

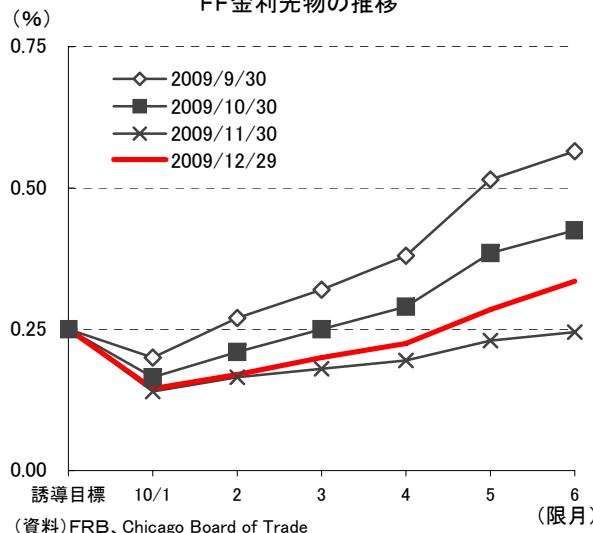
物価については、バーナンキ議長が「需給ギャップが大きい」との見方を示唆するなど、当面は落ち着いた状況が続く見通し。

FOMC声明(要旨)

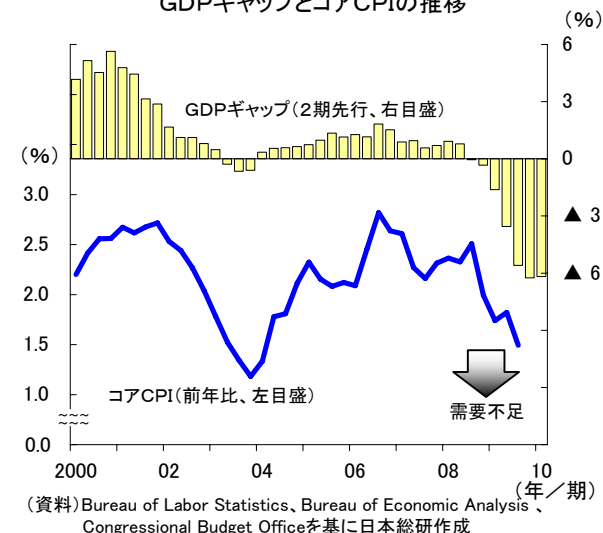
前回(11月4日)		今回(12月16日)
・0～0.25%のレンジ(据え置き) ・経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する可能性が高いと引き続き想定(時間軸効果)	FFレート (誘導目標)	・0～0.25%のレンジ(据え置き) ・経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する可能性が高いと引き続き想定(時間軸効果)
経済活動は改善が続いているとみられる。住宅市場は活発化。家計支出は拡大しつつあるようだが、失業継続や所得の伸び悩みなどによって依然として抑制。企業は投資を縮小し、人員を削減しているがペースは減速。当面、経済活動は弱い状況が続く可能性が高いものの徐々に復帰へ。	景気判断	経済活動は改善が続き、 労働市場の悪化ペースが鈍化しつつあるとみられる。住宅部門は改善の兆し。家計支出は緩やかなペースで改善しつつも 、弱い労働市場や所得の伸び悩みなどによって依然として抑制。企業は投資を縮小しているがペースは減速。 雇用の拡大には依然消極的 。当面、経済活動は弱い状況が続く可能性が高いものの徐々に復帰へ。
長期的なインフレ期待は安定しており、当面、抑制された状態が続くと予想。	インフレ認識	長期的なインフレ期待は安定しており、当面、抑制された状態が続くと予想。
・MBSの買い入れ(来年3月末まで1兆2,500億ドル) ・政府機関債の買い入れ(来年3月末まで1,750億ドル) など →バランスシートの規模と内容を監視し、信用・流動性プログラムを適切に調整する意向	非伝統的 金融政策	・MBS、政府機関債の買い入れに変更なし ・流動性供給プログラムの一部を来年2月1日に終了 ・対各国中銀スワップ協定を来年2月1日に終了 ・TAFによる資金供給額は来年の早い時期に縮小 →必要であればこれらの計画を調整する意向

(資料)FRBを基に日本総研作成

FF金利先物の推移



GDPギャップとコアCPIの推移



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年1月

欧州経済概説（2010年1月）

1. ユーロ圏景気の現状と展望

【景気の現状】

7～9月期のユーロ圏実質GDPは前期比年率+1.5%と、6四半期ぶりにプラス転換。需要項目別にみると、主に外需と在庫が全体を押し上げ。もっとも、個人消費が再びマイナスに転じたほか、投資もマイナスから脱しておらず、先行き楽観できず。

【スペインの雇用情勢】

スペインでは、雇用悪化が持続。2009年10月の失業率(ILO基準)は19.3%と、15年ぶりの水準まで急上昇。とりわけ、25歳未満の若年失業率は42.9%と、ユーロ圏平均の2倍超で推移しており、深刻な状況。スペイン政府は、移民の本国帰還支援、公共事業による雇用創出、社会保険料の負担軽減など、相次ぎ雇用対策を打ち出しているものの、雇用悪化に歯止めがかからず。

背景には、景気循環要因のみならず、労働市場の構造的な問題点を指摘可能。スペインでは正規雇用者に対する解雇規制が厳しく、企業は非正規雇用者を積極的に活用してきた経緯。実際、スペインの全雇用者に占める非正規雇用者の割合は、約3割と高水準。労働市場の二極化が深刻化するもとで、雇用調整は、比較的解雇が容易な非正規雇用者を中心に行われている公算。

1990年代後半以降倍増した建設業の雇用者数は、2008年入り以降、急速に減少。一方、足許の建設業GDPの悪化ペースは2009年春以降、鈍化し始めており、今後は失業者数の減勢が鈍化する可能性も。もっとも、労働市場の構造改革は、労組が強力な支持基盤となっている現政権下では困難な上、景気拡大による雇用創出も当面期待できないことから、スペインの雇用悪化は長期化する見込み。

【景気の見通し】

ユーロ圏景気は、①雇用情勢の悪化を背景とする個人消費低迷、②内外需の落ち込みによる設備投資の減少などが、景気の下押し圧力として作用し続けるため、持続的な回復は期待薄。景気対策効果の剥落する2010年入り以降、再びマイナス成長となる見通し

インフレ率は、エネルギー価格反発の影響が顕在化し、年初には2%台にまで上振れする見込み。もっとも、製品・労働需給の大幅な緩和を背景にコアインフレ率の伸び鈍化が続き、エネルギー価格反発の影響が薄らぐ2010年末にかけて総合ベースでもゼロ%台まで伸びが鈍化していく見通し。

2. ユーロ圏金利見通し

【金融政策・長期金利】

ECBは、12月に1年物オペを停止。今後も緊急措置としての流動性供給は、段階的に解除していく見込み。一方、現行の政策金利水準は当面継続する見通し。

独10年国債利回りは、当面景気低迷やデフレ懸念が金利低下に作用するものの、景気刺激策や収税減に伴う財政赤字拡大を背景に、徐々に上昇圧力が強まる見通し。

3. 英国景気の現状と展望

【景気の現状】

7～9月期の英国実質GDP(確定値)は前期比年率▲0.6%と、改定値から上方修正。需要項目別では、総固定資本形成、個人消費などが上振れ。政府による景気対策効果が顕在化。

【景気の見通し】

英国景気は、①家計のバランスシート調整・雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内外需の落ち込みによる設備投資の減少が、景気の下押し圧力として作用するため、景気対策効果の剥落する2010年入り以降は再びマイナス成長となる見通し。とりわけ、年前半は付加価値税減税の終了に伴い、個人消費を中心に反動減が顕在化する見込み。

インフレ率は、ユーロ圏と比較して柔軟な労働市場や企業の価格設定行動を映じて、コアインフレ率は景気悪化を背景に伸び鈍化傾向が続く見込み。もっとも、総合ベースでは、エネルギー価格反発の影響が顕在化するため、2010年春以降は1%台後半で推移する見込み。

4. 英国金利見通し

【金融政策・長期金利】

BOEは、英国景気の後退局面が持続していることから、現行の信用緩和政策を当面継続する見通し。

英10年債利回りは、景気低迷が金利低下に作用するものの、景気刺激策などに伴う財政の大幅な悪化を主因に、上昇圧力が強まる見通し。

ユーロ圏経済：実質GDPは6四半期ぶりプラスに転換するも、個人消費・設備投資は低迷持続

7～9月期のユーロ圏実質GDPは前期比年率+1.5%と、6四半期ぶりにプラス転換。需要項目別にみると、主に外需と在庫が全体を押し上げ。もっとも、個人消費が再びマイナスに転じたほか、投資もマイナスから脱しておらず、先行き楽観できず。

<企業部門>

ドイツでは、鉱工業生産に対して2ヵ月程度の先行性を持つ製造業受注指数が、10月に8ヵ月ぶりのマイナスに転じるなど、春以降の生産持ち直しの動きに一服感。

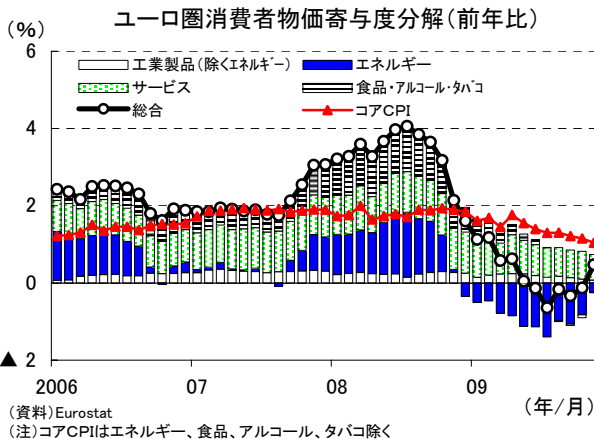
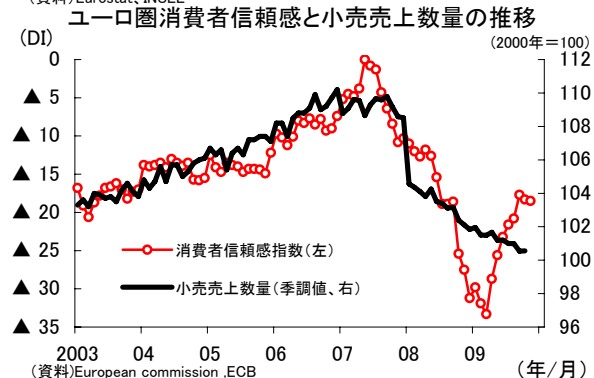
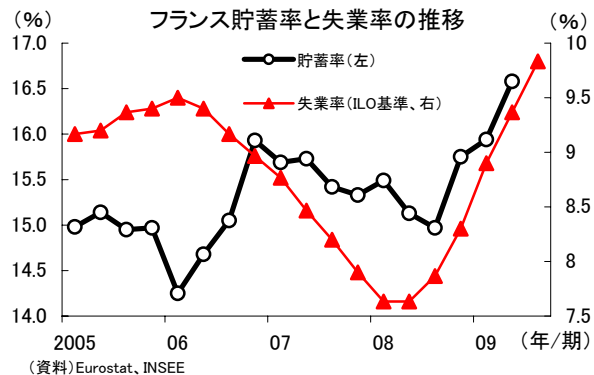
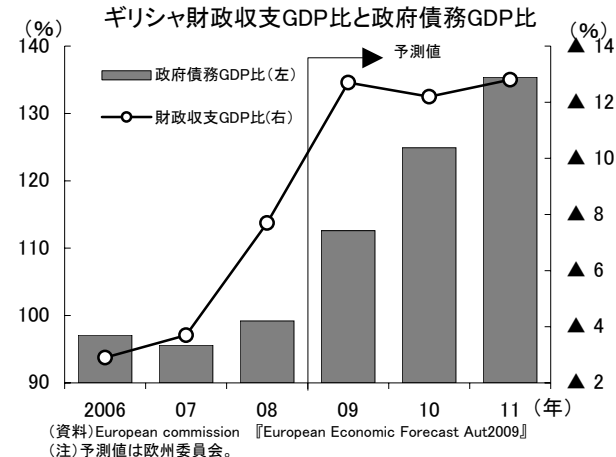
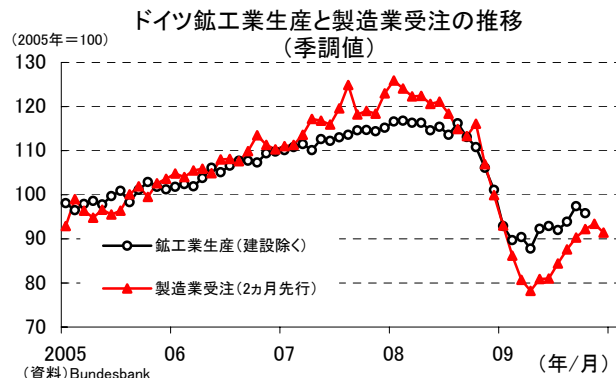
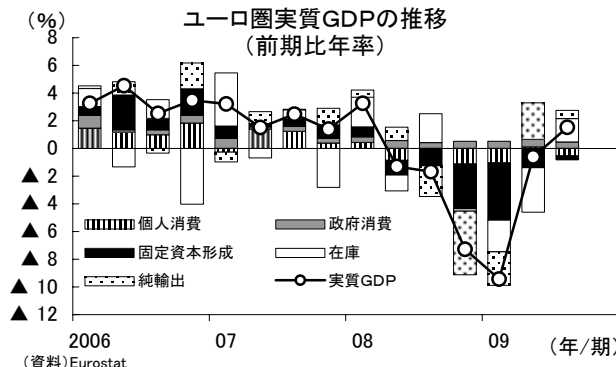
<財政>

ギリシャでは財政悪化が顕在化。欧州委員会によれば、ギリシャの2011年の政府債務はGDP比135%、財政収支はGDP比▲12.8%と域内最悪の水準まで悪化する見通し。通貨切り下げが封じられている状況下で、緊縮財政に踏み切れば、景気回復が大幅に遅れる公算。財政悪化問題はギリシャにとどまらず、今後スペイン、ポルトガルなど域内他国に波及する可能性も。

<家計部門>

フランスでは2008年入り以降、雇用情勢の悪化につれて貯蓄率が上昇を続けており、消費マインドが慎重化。雇用悪化が一段と深刻化すれば、所得のさらなる伸び鈍化も避けられず、個人消費は一段と冷え込む公算大。

11月の消費者物価指数は前年比+0.6%と7ヵ月ぶりにプラスに転じた。エネルギー価格の下押し圧力の減衰が背景。



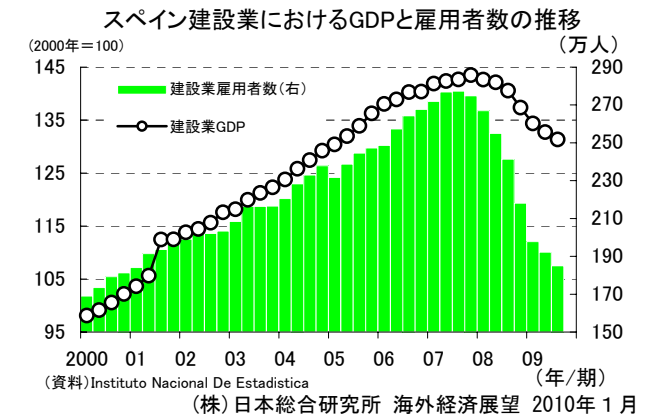
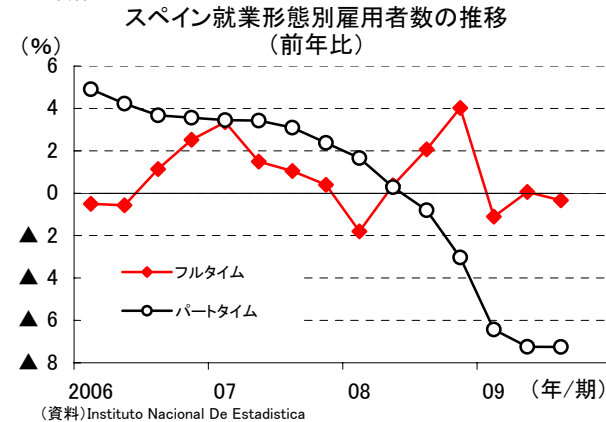
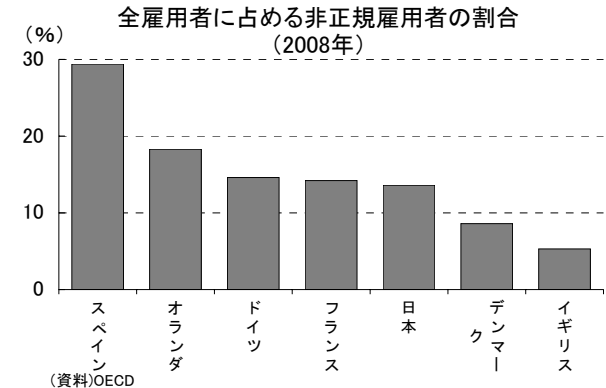
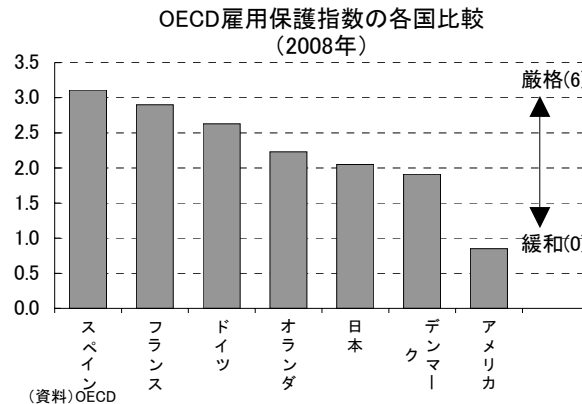
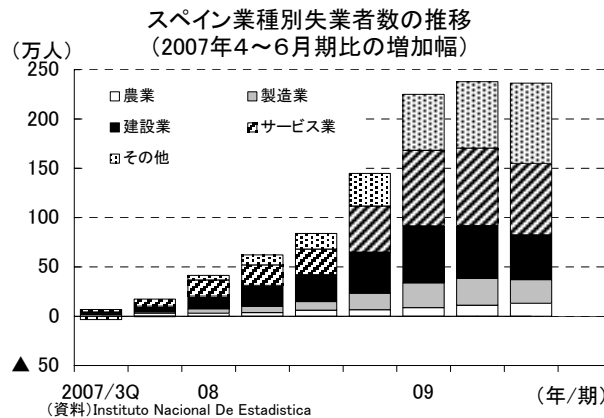
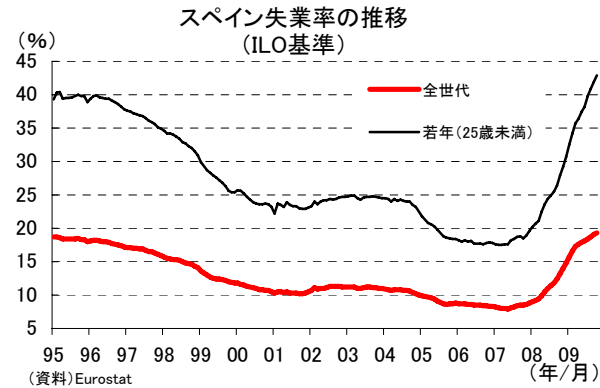
(株) 日本総合研究所 海外経済展望 2010年1月

スペインの雇用情勢

スペインでは、雇用悪化が持続。2009年10月の失業率(ILO基準)は19.3%と、15年ぶりの水準まで急上昇。とりわけ、25歳未満の若年失業率は42.9%と、ユーロ圏平均の2倍超で推移しており、深刻な状況。スペイン政府は、移民の本国帰還支援、公共事業による雇用創出、社会保険料の負担軽減など、相次ぎ雇用対策を打ち出しているものの、雇用悪化に歯止めがかからず。失業者数は、2007年前半の住宅バブル崩壊以降、建設業・サービス業を中心に増加を続け、10月末時点では412万人にのぼる。

背景には、景気循環要因のみならず、労働市場の構造的な問題点を指摘可能。スペインでは正規雇用者に対する解雇規制が厳しく、企業は非正規雇用者を積極的に活用してきた経緯。実際、スペインの全雇用者に占める非正規雇用者の割合は、約3割と高水準。労働市場の二極化が深刻化するも、雇用調整は、比較的解雇が容易な非正規雇用者を中心に行われている公算。

1990年代後半以降倍増した建設業の雇用者数は、2008年入り以降、急速に減少。一方、建設業GDPの悪化ペースは2009年春以降、鈍化し始めており、今後は失業者数の減勢が鈍化する可能性も。もっとも、労働市場の構造改革は、労組が強力な支持基盤となっている現政権下では困難な上、景気拡大による雇用創出も当面期待できないことから、スペインの雇用悪化は長期化する見込み。



英国経済：年明け以降、消費に反動減が生じる恐れ

7～9月期の英国実質GDP（確定値）は前期比年率▲0.6%と、改定値から上方修正。需要項目別では、総固定資本形成、個人消費などが上振れ。政府による景気対策効果が顕在化。

<企業部門>

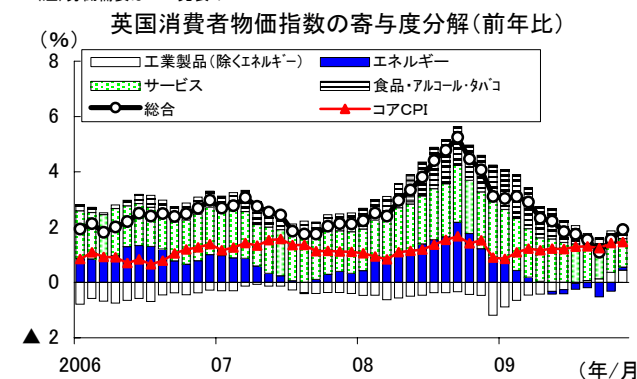
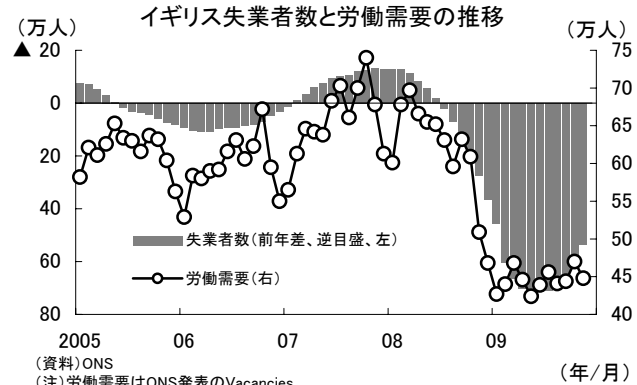
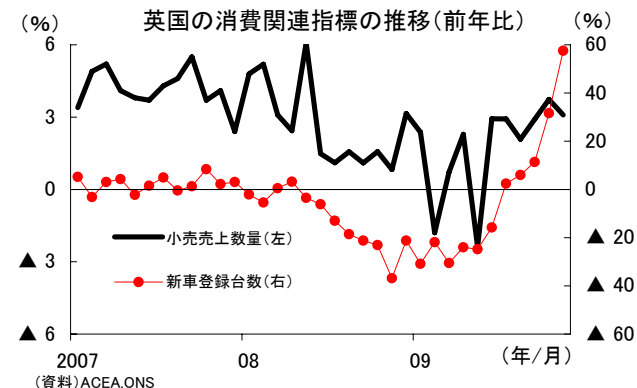
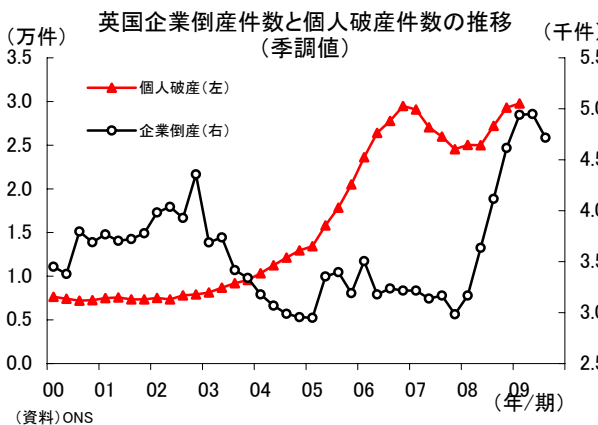
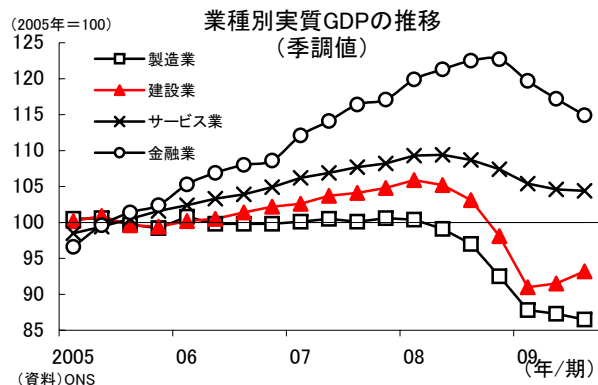
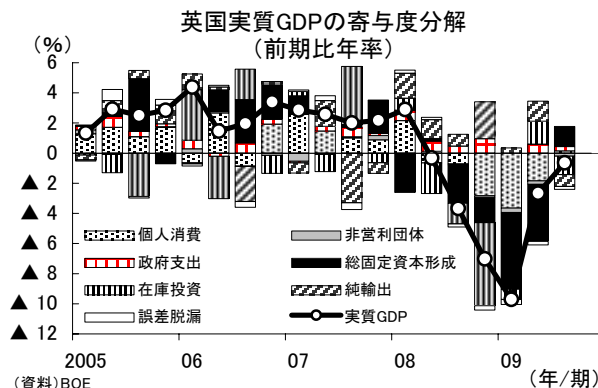
7～9月期の企業部門別業種別GDPをみると、建設業・サービス業は底堅く推移。一方、金融業・製造業は、2009年入り以降、ペースは鈍化しているものの、引き続き悪化。とりわけ、主力産業である金融業は、先行き楽観できず。企業倒産件数、個人破産件数ともに高止まりするなか、当面金融機関の不良債権増加に歯止めがかからない公算大。

<家計部門>

景気対策や値下げが奏功し、実質ベースでみた個人消費は持ち直しの動きが持続。11月の小売売上数量は、前年比+3.1%と、6ヵ月連続のプラスとなったほか、新車登録台数も同+57.6%と、5ヵ月連続のプラスに。

もっとも、労働需要が低迷するなか、雇用情勢は依然厳しい状況が続いており、個人消費の本格的な回復は期待薄。むしろ、付加価値税（VAT）引き下げは2009年末迄、自動車販売奨励策は2010年2月迄の時限措置となっており、年明けからの反動減が懸念される状況。

11月のCPIは、前年比+1.9%に小幅上昇。エネルギー価格の下押し影響が減衰したため、下落傾向に歯止め。



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年1月

欧州経済見通し：持ち直しの動きは一時的。持続的な回復は期待薄

ユーロ圏景気は、①雇用情勢の悪化を背景とする個人消費低迷、②内外需の落ち込みによる設備投資の減少などが、景気の下押し圧力として作用し続けるため、持続的な回復は期待薄。景気対策効果の剥落する2010年入り以降、再びマイナス成長となる見通し。一方、今後追加の経済対策策定が見込まれ、これにより年後半の景気は下支えされる展開を予想。

インフレ率は、エネルギー価格反発の影響が顕在化し、年初には2%台にまで上振れする見込み。もっとも、製品・労働需給の大幅な緩和を背景にコアインフレ率の伸び鈍化が続き、エネルギー価格反発の影響が薄らぐ2010年末にかけて総合ベースでもゼロ%台まで伸びが鈍化していく見通し。

英国景気は、①家計のバランスシート調整・雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内外需の落ち込みによる設備投資の減少が、景気の下押し圧力として作用するため、景気対策効果の剥落する2010年入り以降は再びマイナス成長となる見通し。とりわけ、年前半は付加価値税減税の終了に伴い、個人消費を中心に反動減が顕在化する見込み。

インフレ率は、ユーロ圏と比較して柔軟な労働市場や企業の価格設定行動を映じて、コアインフレ率は景気悪化を背景に伸び鈍化傾向が続く見込み。もっとも、総合ベースでは、エネルギー価格反発の影響が顕在化するため、2010年春以降は1%台後半で推移する見込み。

＜欧州各国経済・物価見通し＞

(前年比、実質GDPの四半期は季節調整後前期比年率、%)

		2008年 (実績)	2009年				2009年 (予測)	2010年				2010年 (予測)
			1～3	4～6	7～9	10～12		1～3	4～6	7～9	10～12	
ユーロ圏	実質GDP	0.6	▲9.4	▲0.6	1.5	0.1	▲4.0	▲0.5	▲0.3	▲0.1	0.2	0.2
	消費者物価指数	3.3	1.0	0.2	▲0.4	0.5	0.1	2.0	1.2	0.7	0.3	1.0
	ドイツ	実質GDP	1.3	▲13.4	1.8	2.9	▲0.1	▲5.0	▲0.5	▲0.3	▲0.2	0.3
		消費者物価指数	2.9	0.8	0.2	▲0.2	▲0.4	0.1	0.7	0.7	0.1	0.2
フランス	実質GDP	0.4	▲5.5	1.1	1.1	0.2	▲2.4	▲0.3	▲0.1	▲0.2	0.1	0.1
	消費者物価指数	3.2	0.6	▲0.2	▲0.4	0.1	0.0	1.7	1.2	0.6	0.2	0.9
英国	実質GDP	0.5	▲9.7	▲2.7	▲0.6	0.0	▲4.9	▲0.4	▲0.3	0.2	▲0.1	▲0.2
	消費者物価指数	3.6	3.0	2.1	1.5	1.3	2.0	1.5	1.8	1.8	1.8	1.7

(資料)Eurostat, 各国統計局

▶ 予測

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年1月

欧州金利見通し：財政収支の悪化により、長期金利が上昇する懸念

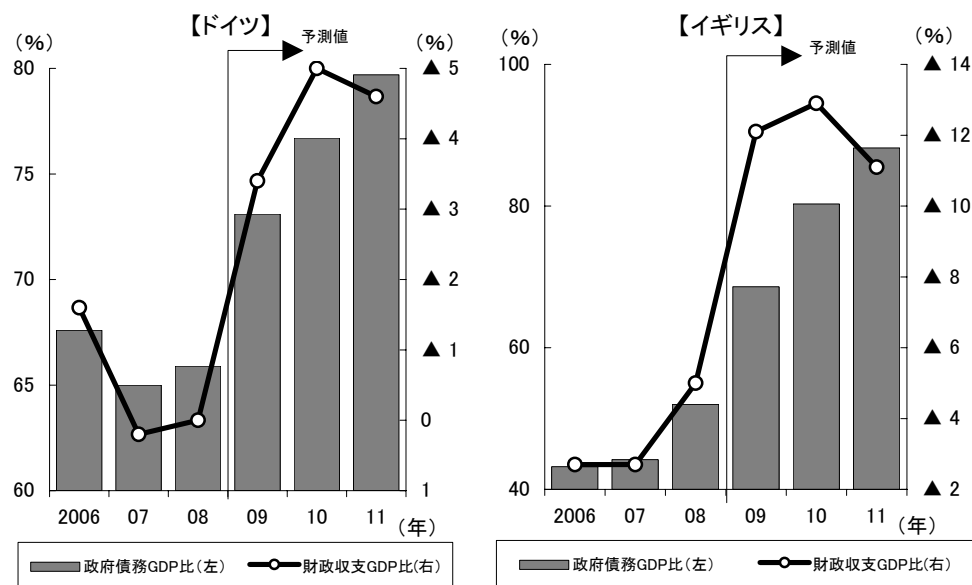
ECBは、12月に1年物オペを停止。今後も緊急措置としての流動性供給は、段階的に解除していく見込み。一方、現行の政策金利水準は当面継続する見通し。

独10年国債利回りは、当面景気低迷やデフレ懸念が金利低下に作用するものの、景気刺激策や税収減に伴う財政赤字拡大を背景に、徐々に上昇圧力が強まる見通し。

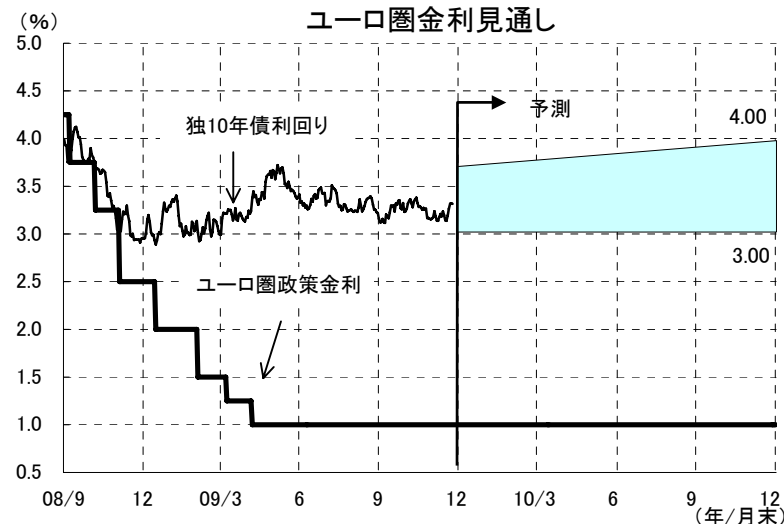
BOEは、英国景気の後退局面が持続していることから、現行の信用緩和政策を当面継続する見通し。

英10年債利回りは、景気低迷が金利低下に作用するものの、景気刺激策などに伴う財政の大幅な悪化を主因に、徐々に上昇圧力が強まる見通し。

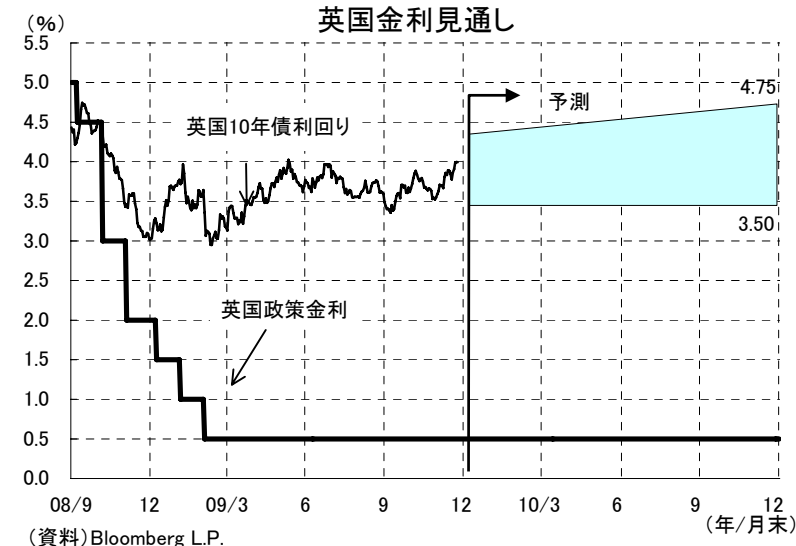
財政収支GDP比と政府債務GDP比の推移



ユーロ圏金利見通し

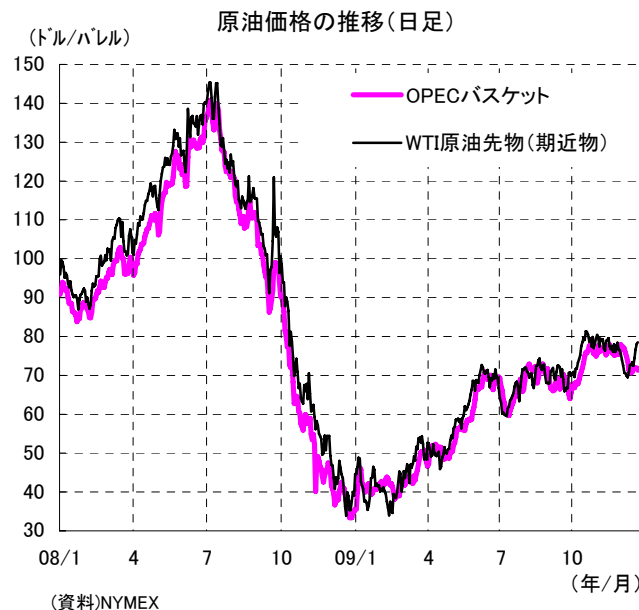


英国金利見通し



(参考) 原油価格を巡る動き－ 1

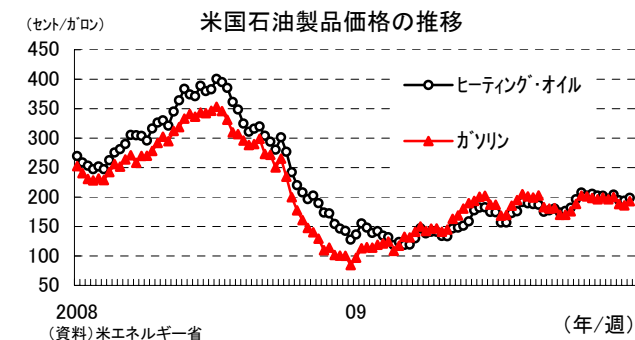
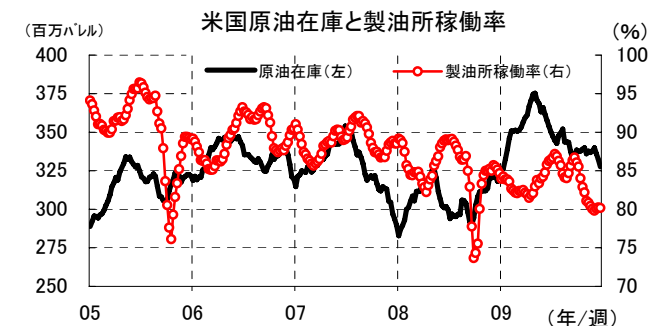
12月のWTI先物は、70ドル台を中心に一進一退



最近の原油市場を巡る動き

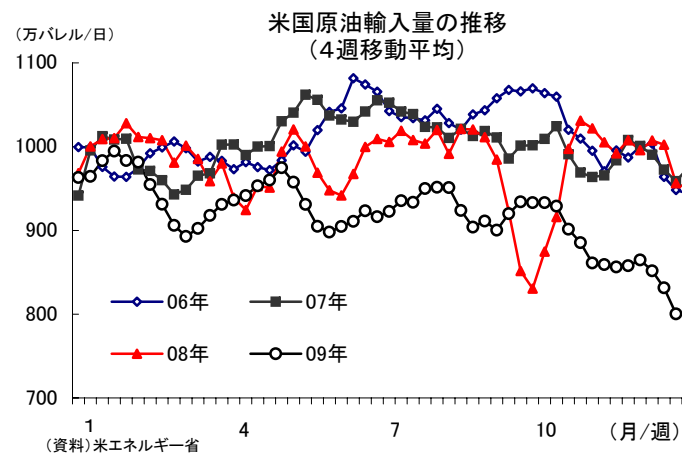
12/2	米エネルギー省、原油在庫は前週比+209万バレル
4	米雇用統計、11月の失業率は10.0% サウジ石油相、「1バレル＝75ドル近辺の原油価格に満足」
9	米エネルギー省、ガソリン在庫は前週比+225万バレル
14	UAE、「ドバイワールド」救済を発表 中国、ペトロチャイナが1億トンを超える原油を発見
15	OPEC、2010年の原油需要予測を引き上げ
18	ドイツ、IFO景況感指数は17カ月ぶり高水準
22	OPEC総会、原油生産枠の据え置きで合意 ムーディーズがギリシャ国債格付をA2に引き下げ
23	米エネルギー省、原油在庫は前週比▲484万バレル
24	米失業保険申請件数、リーマン・ショック直前の水準まで低下

(資料)Bloombergなど各種報道



<12月の原油市況>

12月の原油相場は、70ドル台を中心に一進一退。
上旬から中旬にかけては、ドル高や米国での利上げ前倒し観測から9営業日連続の下落。11日、14日には終値で70ドルを割り込むなど調整色が強まった。もっとも、月末にかけては、燃料在庫が大幅に減少するなど需給面に改善の兆しがみられたことから、再び上昇に転じた。

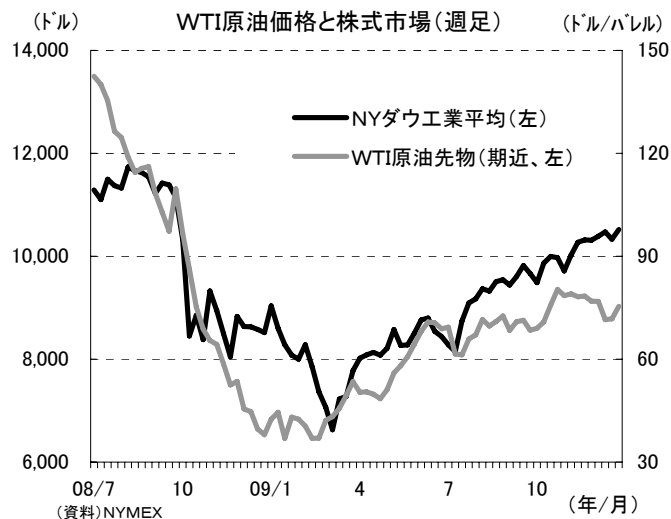
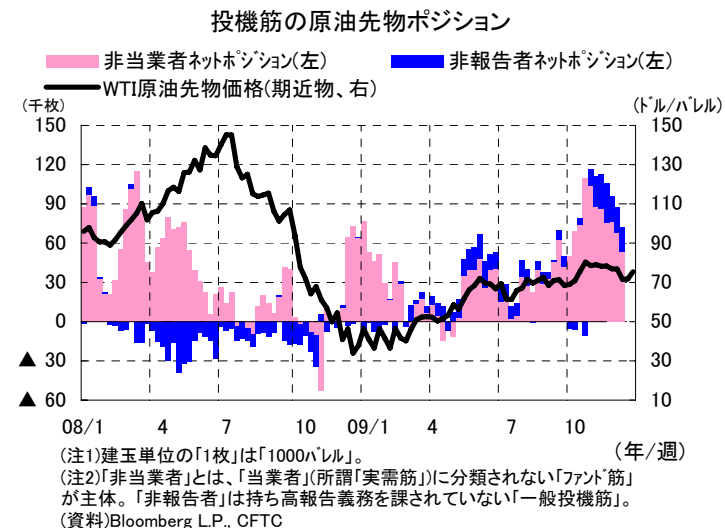


<原油需給動向>

12月の原油在庫は、3週連続の減少。
米北部の記録的な寒波もあり、ヒーティング・オイルなど石油製品の需要が底堅く推移していることが背景に。
もっとも、稼働率は依然低く、景気の先行き懸念も払拭されていないことから、例年冬季需要のため増加する傾向がある原油輸入量は足許大幅に減少。

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年 1月

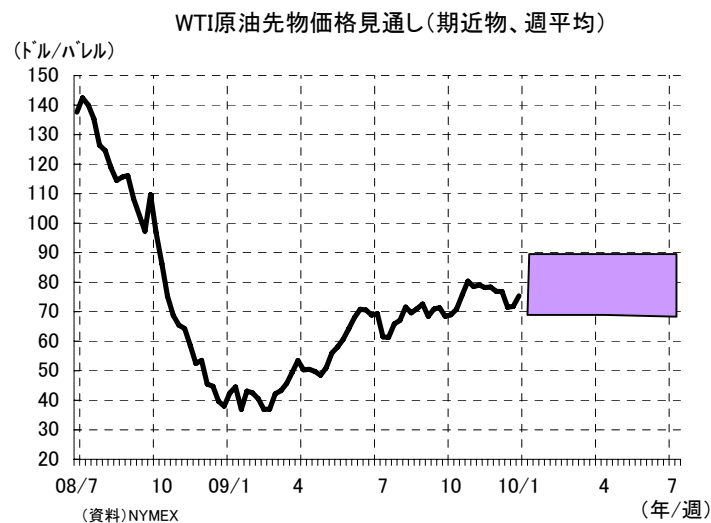
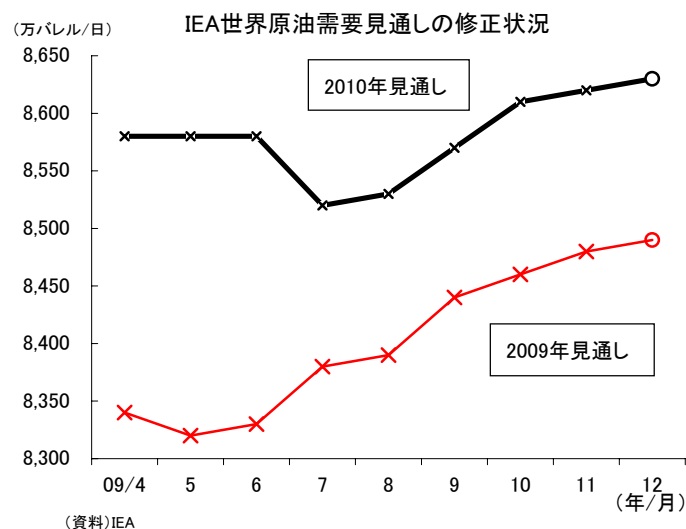
(参考) 原油価格を巡る動き－２



<投機筋・投機資金の動向>

ファンド筋の買いポジションは、12月は減少に転じたものの、依然高水準。景気回復への期待感から、株価およびコモディティ価格は堅調に推移しており、投機筋のリスク許容度が改善している公算大。

もともと、米国経済の本格回復への道筋は依然として不透明で、一段の株価上昇は当面期待薄。こうした動きは原油先物価格にも影響を与える見込み。



<原油価格見通し>

WTI先物は、当面横ばい圏で推移する見通し。

押し上げ要因としては、①中国をはじめとする新興国での需要増、②ドル安などが挙げられる。ちなみに、IEAは2010年の世界原油需要見通しを5ヵ月連続で上方修正。

一方、①欧米をはじめとする先進国の景気低迷が続く見通しであること、②持続的な株高が見込み薄なもとで投資マネーのリスク許容度の改善余地は限定的とみられることから、上昇余地は限られる見込み。

内外市場動向（2009年12月）

	ドル金利						円金利						マルク金利		為替相場								株式相場			石油 (WTI) 先物 (\$/B)	金 (COMEX) 先物 (\$/TO)	CRB 商品 指数		
	Fed Fund 0/N		ユー・ロ・ ドル	ユー・ロ・\$ 先物 価格	10年 国債 金利	30年 国債 金利	T-Bond 先物 価格	無担 コール 0/N	CD 3M	ユー・ロ・ 3M	ユー・ロ・\ 先物 価格	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債 金利	円債 先物 価格	ユー・ロ・ マルク 3ヵ月	10年 国債 金利	円/ドル 東京 17:00	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			日経平均 225種 (円)				NY ダウ 工業株 (ドル)	NASDAQ (ドル)
	終値	実効	3ヵ月															円	EUR	SFr	STG	EUR	SFr	STG						
2009年				(Mar)		(Mar)					(Jun)			(Dec)														(Jan)	(Feb)	
11/30	0.14	0.13	0.45	99.62	3.20	4.19	122.23	0.113	0.42	0.51	99.58	0.77	1.26	139.74	0.68	3.16	86.15	86.37	1.5009	1.0051	1.6454	129.63	85.96	142.05	9345.55	10344.84	2144.60	77.28	1182.3	277.40
12/1	0.14	0.13	0.45	99.63	3.28	4.27	121.20	0.104	0.42	0.50	99.68	0.69	1.22	140.47	0.68	3.15	87.03	86.66	1.5088	0.9991	1.6624	130.74	86.74	144.04	9572.20	10471.58	2175.81	78.37	1200.2	279.34
2	0.15	0.13	0.45	99.60	3.31	4.25	121.07	0.101	0.42	0.49	99.69	0.70	1.25	140.21	0.68	3.16	87.20	87.46	1.5046	1.0018	1.6636	131.58	87.29	145.47	9608.94	10452.68	2185.03	76.60	1213.0	276.80
3	0.12	0.13	0.45	99.61	3.38	4.33	120.06	0.105	0.41	0.48	99.67	0.69	1.27	140.06	0.68	3.18	87.75	88.22	1.5070	1.0000	1.6561	132.95	88.22	146.11	9977.67	10366.15	2173.14	76.46	1218.3	276.55
4	0.13	0.12	0.45	99.56	3.47	4.39	118.26	0.102	0.40	0.48	99.66	0.71	1.29	139.91	0.68	3.24	88.08	90.44	1.4851	1.0166	1.6450	134.31	88.97	148.78	10022.59	10388.90	2194.35	75.47	1169.5	273.87
5																														
6																														
7	0.14	0.12	0.45	99.60	3.43	4.38	119.04	0.107	0.40	0.48	99.67	0.73	1.29	139.91	0.68	3.19	89.84	89.53	1.4820	1.0199	1.6448	132.65	87.79	147.22	10167.60	10390.11	2189.61	73.93	1164.0	274.18
8	0.13	0.12	0.45	99.61	3.38	4.37	119.21	0.107	0.40	0.47	99.65	0.73	1.27	140.09	0.68	3.14	88.95	88.43	1.4699	1.0274	1.6289	129.95	86.03	143.97	10140.47	10285.97	2172.99	72.62	1143.4	271.90
9	0.14	0.12	0.45	99.62	3.43	4.42	119.09	0.105	0.40	0.47	99.65	0.72	1.24	140.36	0.68	3.14	87.91	87.87	1.4727	1.0267	1.6263	129.41	85.59	142.93	10004.72	10337.05	2183.73	70.67	1120.9	267.75
10	0.14	0.12	0.45	99.60	3.50	4.51	118.13	0.100	0.40	0.47	99.66	0.71	1.25	139.73	0.68	3.18	87.96	88.19	1.4735	1.0259	1.6279	129.95	85.98	143.56	9862.82	10405.83	2190.86	70.54	1126.2	269.52
11	0.14	0.12	0.45	99.60	3.55	4.50	117.27	0.091	0.40	0.47	99.66	0.73	1.28	139.50	0.68	3.21	88.69	89.06	1.4623	1.0346	1.6251	130.23	86.09	144.73	10107.87	10471.50	2190.31	69.87	1119.9	270.86
12														(Mar)																
13																														
14	0.14	0.12	0.45	99.60	3.55	4.48	118.01	0.092	0.40	0.47	99.65	0.74	1.30	139.35	0.68	3.19	88.55	88.62	1.4656	1.0319	1.6313	129.86	85.91	144.53	10105.68	10501.05	2212.10	69.51	1123.8	273.52
15	0.14	0.13	0.45	99.59	3.59	4.52	117.18	0.098	0.39	0.46	99.66	0.72	1.28	139.63	0.68	3.24	89.11	89.63	1.4536	1.0404	1.6277	130.26	86.15	145.87	10083.48	10452.00	2201.05	70.69	1123.0	274.27
16	0.15	0.14	0.45	99.61	3.60	4.52	117.16	0.113	0.39	0.46	99.67	0.71	1.26	139.84	0.68	3.20	89.69	89.80	1.4537	1.0384	1.6336	130.53	86.47	146.68	10177.41	10441.12	2206.91	72.66	1136.2	278.75
17	0.13	0.13	0.45	99.64	3.48	4.42	118.30	0.106	0.39	0.46	99.67	0.71	1.25	139.79	0.67	3.14	89.71	89.89	1.4345	1.0471	1.6158	128.97	85.86	145.22	10163.80	10308.26	2180.05	72.65	1107.4	276.13
18	0.15	0.12	0.45	99.64	3.54	4.46	118.08	0.105	0.39	0.46	99.68	0.68	1.23	140.08	0.67	3.14	89.84	90.32	1.4343	1.0420	1.6144	129.58	86.69	145.92	10142.05	10328.89	2211.69	73.36	1111.5	276.14
19																												(Feb)		
20																												72.47	1096.0	274.78
21	0.12	0.12	0.45	99.64	3.67	4.56	116.28	0.096	0.39	0.46	99.69	0.66	1.22	140.32	0.67	3.19	90.46	91.17	1.4285	1.0462	1.6043	130.25	87.17	146.30	10183.47	10414.14	2237.66	74.40	1086.7	274.89
22	0.12	0.12	0.45	99.64	3.75	4.61	116.03	0.104	0.39	0.46	99.67	0.67	1.25	140.02	0.67	3.26	91.18	91.85	1.4250	1.0488	1.5971	130.86	87.57	146.68	10378.03	10464.93	2252.67	76.67	1094.0	279.36
23	0.13	0.11	0.45	99.64	3.75	4.61	115.30	close	close	close	close	close	close	close	0.67	3.32	close	91.69	1.4327	1.0393	1.5957	131.34	88.23	146.32	close	10466.44	2269.64	78.05	1104.8	280.92
24	0.13	0.11	0.45	99.64	3.80	4.68	115.07	0.102	0.39	0.46	99.66	0.68	1.26	139.89	0.67	3.32	91.23	91.54	1.4375	1.0380	1.5956	131.61	88.21	146.09	10536.92	10520.10	2285.69	close	close	close
25	close	close	0.45	close	3.80	4.68	close	0.098	0.39	0.46	99.65	0.70	1.27	139.74	close	3.32	91.29	91.20	1.4397	1.0359	1.5964	131.29	88.04	145.59	10494.71	close	close	close	close	close
26																														
27																														
28	0.12	0.12	0.45	99.62	3.84	4.69	115.00	0.097	0.39	0.46	99.65	0.72	1.30	139.38	0.67	3.35	91.51	91.61	1.4383	1.0344	1.6002	131.77	88.50	146.59	10634.23	10547.08	2291.08	78.77	1107.9	284.45
29	0.12	0.12	0.45	99.63	3.80	4.64	115.13	0.097	0.39	0.46	99.64	0.70	1.30	139.53	0.66	3.37	91.71	92.01	1.4354	1.0368	1.5899	132.10	88.76	146.27	10638.06	10545.41	2288.40	78.87	1098.1	283.73
30	0.10	0.11	0.45	99.65	3.79	4.61	115.28	0.094	0.39	0.46	99.64	0.70	1.29	139.70	0.66	3.39	92.13	92.47	1.4335	1.0369	1.6072	132.57	89.19	148.56	10546.44	10548.51	2291.28	79.28	1092.5	283.63
31	0.01		0.45	99.65	3.84	4.64	115.12	close	close	close	close	close	close	close	0.66	3.39	close	92.92	1.4318	1.0357	1.6157	133.10	89.76	150.15	close	10428.05	2269.15	79.36	1096.2	283.38
10/1/1	close		close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	close	93.03	1.4346	1.0348	1.6171	133.27	89.90	150.43	close	close	close	close	close	close
2																														
3																														
4																														
5																														
12月AVG	0.13	0.12	0.45	99.62	3.59	4.50	117.27	0.101	0.40	0.47	99.66	0.70	1.26	139.88	0.67	3.23	89.52	90.03	1.4570	1.0306	1.6220	131.12	87.36	145.98	10169.01	10433.44	2220.60	74.60	1129.7	276.58

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F 0/N	1-03カ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03カ月	10年国債
06/5	0.10	0.020	0.19	0.27	0.89	1.60	2.15	1.91	1.375	2.50	111.51	142.54	16322.24	4.93	5.18	5.10	11333.88	2.89	3.98
06/6	0.10	0.036	0.31	0.40	0.88	1.50	2.06	1.86	1.375	2.45	114.53	145.14	14990.31	5.00	5.38	5.10	10997.97	2.99	3.99
06/7	0.40	0.155	0.40	0.48	0.94	1.57	2.12	1.90	1.375	2.65	115.67	146.72	15147.55	5.25	5.49	5.08	11032.48	3.10	4.02
06/8	0.40	0.250	0.43	0.51	0.89	1.48	2.02	1.81	1.625	2.50	115.88	148.47	15786.78	5.25	5.40	4.87	11257.35	3.23	3.89
06/9	0.40	0.261	0.43	0.50	0.77	1.27	1.84	1.67	1.625	2.30	117.01	149.11	15934.09	5.25	5.38	4.71	11533.60	3.34	3.76
06/10	0.40	0.254	0.44	0.52	0.85	1.37	1.92	1.76	1.625	2.35	118.66	149.66	16532.70	5.25	5.36	4.72	11963.12	3.50	3.80
06/11	0.40	0.257	0.47	0.56	0.91	1.36	1.87	1.69	1.625	2.30	117.35	151.13	16101.07	5.25	5.36	4.59	12185.15	3.60	3.73
06/12	0.40	0.255	0.53	0.60	0.92	1.34	1.77	1.63	1.625	2.35	117.30	154.92	16790.21	5.24	5.35	4.56	12377.62	3.60	3.73
07/1	0.40	0.267	0.55	0.61	0.91	1.37	1.84	1.70	1.625	2.40	120.58	156.56	17286.32	5.26	5.35	4.75	12512.89	3.75	4.03
07/2	0.75	0.357	0.57	0.63	0.91	1.36	1.84	1.70	1.625	2.30	120.45	157.60	17741.23	5.26	5.35	4.72	12631.48	3.82	4.05
07/3	0.75	0.509	0.67	0.70	0.93	1.31	1.76	1.61	1.875	2.20	117.28	155.29	17128.37	5.26	5.34	4.56	12268.53	3.89	3.95
07/4	0.75	0.511	0.65	0.70	0.97	1.37	1.82	1.67	1.875	2.25	118.83	160.36	17469.81	5.24	5.34	4.68	12754.80	3.98	4.16
07/5	0.75	0.521	0.65	0.72	1.04	1.41	1.84	1.67	1.875	2.25	120.73	163.19	17595.14	5.25	5.34	4.74	13407.76	4.07	4.29
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.45	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.45	3.59	10433.44	0.67	3.23

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。